



小江原小学校だより

光満つ丘・空と風

令和 7 年 3 月 2 4 日号

文責：秋山壽哉



「第48回卒業証書授与式」

3月18日(火)、少しずつ春の訪れを感じるこの日、ご来賓の皆様並びに保護者・ご家族の皆様にご臨席いただき、「第48回卒業証書授与式」を挙行することができました。

卒業生31名は、小学校生活の集大成として立派な態度で証書授与や別れの言葉などに臨みました。凛とした卒業生の姿と、感謝の気持ちをもって臨む5年生の姿とが調和し、感動ある卒業式となったことは、小江原小の新たな歴史を刻む第一歩となりました。

卒業生への「はなむけの言葉」(式辞)として、次の話をしました。(以下、校長「式辞」より)

一つ目は、「感謝する心」です。

皆さんが卒業の日を迎えることができたのは、皆さん自身の努力の賜物であることは言うまでもありませんが、どんなときにも、皆さんを温かい愛情で包み込み、常に勇気付けの言葉をかけて、優しく背中を押してくれた家族の存在があったということです。

在校生や地域の皆様にも、支えていただきました。下級生のおかげで、六年生としての活躍の場があり、頼りにされる喜びやリーダーシップを執るやりがいを経験できたのです。地域の皆様は、朝の登校の見守りや、学校行事などに積極的にかかわってくださるなど、惜しみなく、心から応援してくださいました。

そして、常にそばにいて、一緒に喜び合ったり、悲しみを分かち合ったりしてくれた仲間がいたことです。

「人は人によって生かされる」。大切なのは「周囲への感謝の心」です。

二つ目は、「夢・憧れ・志」です。

ミッキーマウスというキャラクターを誕生させたのは、「ウォルトディズニー」という人です。「ウォルト」は十九歳からアニメーションを手がけ、今から九十七年前にミッキーマウスを誕生させました。その後、夢であった大人も一緒に楽しめる「夢の国ディズニーランド」を作り上げました。

しかし、成功ばかりが続いたわけではありません。たくさんの苦労や失敗という苦難の中でもくじけず、夢を追いかけて、努力してきた人なのです。

「人々に幸福を与える場所、大人も子供も、楽しい思い出を作ってもらえる夢の国をつくりたい」その強い志、何度転んでも、そのたびに立ちあがる「あきらめない」姿勢がウォルトにはあったのです

◇夢を求め続ける勇気さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。

卒業する皆さんが、中学校生活でも「感謝する心」、そして「夢・憧れ・志」をもって、充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。

卒業生に対して励ましのお言葉をたくさん頂戴し、本当にありがとうございました。

これから立ち上がるであろう大小の壁を乗り越え、健やかに成長することを職員一同願っています。

お子様のご卒業によって、本校育友会を卒業される保護者の皆様、長年にわたり本校教育活動や育友会活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございました。どうぞこれからも、小江原小学校の応援団として見守っていただきますようお願い申し上げます。



【次年度に向けて気持ちを高める「春休み」に】

4月から、新しい学年での学校生活が始まります。進級時はどの子も意欲に満ちています。その意欲が長続きすることにより「自律・尊重」につながります。

子どもたちに「なぜ、勉強するのか?」その意味を考えるように伝えています。ぜひ、ご家族で「学ぶ意味・意義」を問い直し、お子様が主体的に学びに向かえるようご支援願います。

「春休み」には、「学ぶ意味・意義」の問い直しを含め、ご家庭で進級に対する希望や期待を後押ししていただきますよう、よろしくお願いいたします。

「心からの感謝を込めて・・・」

この度の人事異動に伴い、退職並びに転出いたします職員に代わり、校長として、皆様に心からお礼を申し上げます。本校に関わる全ての皆様のおかげで、小江原っ子は少しずつ「自律・尊重」に向かって歩み続けることができています。

これまで皆様から賜りましたご厚情と小江原小での思い出を胸に、新たな赴任地においても努力し続けます。本当にありがとうございました。